

様式第 5 号（第 10 条関係）

パブリックコメント実施結果報告書

【案件名：つくば市文化芸術推進基本計画（第2期）（案）】

令和6年（2024 年）3月
つくば市 市民部 文化芸術課

■ 意見集計結果

令和6年(2024年)1月5日から2月5日までの間、「つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)(案)」について、意見募集を行った結果、6人(団体を含む。)から20件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	0人
郵便	0人
電子メール	0人
ファクシミリ	0人
電子申請	6人
合 計	6人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ P19.3.1 基本理念 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	冒頭部分の一行について、文末が「としました。」となっているので個人が書いたもののように感じた。個人が決定したことを発表し、その決定を尊重しなさいと命令している印象。基本理念の「アートで編む」はページトップに大きく掲げられているので、この一行は必要ない。	1件	第1期計画の説明として、基本理念「アートで編む」について記載しましたが、下段に第1期の説明があり、重複しているため、この一文を削除します。
2	下段「基本理念「アートで編む」で始まる部分について、「アートで編む」の説明になっているが少し長くて複雑で、「編む」なのに「布	1件	御提案いただいた表現をいかし、文章を修正しました。 「第1期計画では基本理念を「アートで編む」とし、市の様々な主体や魅力を文化芸術で結

	を織る」と説明しているので矛盾を感じる。 「「アートで編む」は、市の様々な主体や魅力を文化芸術で結びつけ、新しい文化芸術を創造し、豊かなまちづくりを目指すという意味です。」というような言い回しが良いのではないかな。 また、文末が「思いを込めました。」となっているが、これは芸術家が自分の作品を説明するときなどに使うものではないかな。		びつけ、新しい文化芸術を創造し、豊かなまちづくりを目指しました。」とし、続く文章とつながりをもたせました。
--	---	--	--

○ 本文デザイン について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	赤色が多過ぎる。目立たせるために赤色を使っただけで、沢山の赤色を見たとき人がどう感じるかを全く考えていないのではないかな。芸術推進に関する計画なのだから、計画書の色使いも芸術性を感じさせるものにしてほしい。	1件	本計画では、つくば市文化芸術審議会において、芸術系の学識経験者を含めた委員に御意見をいただき、カラーユニバーサルデザインを考慮した紙面デザインとしました。 しかしながら、いただいた御意見のとおり「2. 文化芸術を取り巻く現状と課題」について、赤を基調とした分量が多かったため、青を基調としたデザインに修正します。

○ 図書館 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	計画における図書館の役割や位置付けが明確でないように思う。市民の日常に寄り添い、人材の育成や文化芸術の発信基地として図書館が果たす役割は非常に大き	1件	図書館における実践について 施策体系では 方針①文化芸術に親しむまち 戦略1 文化芸術に接する機会の拡充 施策（3）子どもたちが優れた

	いという印象を持っており、その位置付けを基本計画の中で明確にした上で、具体的な施策を検討する必要があるのではないか。		文化芸術に触れることができる機会の拡充「主な取組例」の中で中央図書館での活動の一部を掲載しています。掲載しているおはなし会や学校訪問ブックトークのほか、自動車図書館、ジュニア図書館員、電子図書館等を今後も実践していく予定です。 御意見をいただいたとおり、文化芸術の振興において図書館の役割は非常に大きく、本計画では特に幼少期に優れた文学に触れる機会の拡充を目指します。いただいた御意見は、事業の検討の際に参考とさせていただきます。
2	他の先進的な図書館のオープンデータでは、市立図書館の開館日数・入館者数などを公開していて、データが見えてくることで政策にいかしている。つくば市の図書館でも統計のうえ公開してほしい。	1件	つくば市においても、市ホームページで中央図書館の「実績評価結果」や「つくば市の図書館概要（年間統計）」等を公開し、政策にいかしております。公開されておりますデータ等をぜひ御確認ください。

○ 文化芸術施設 について

1	文化芸術の発信基地としてノバホールや各市民ホールが挙げられているが、いずれも老朽化が進んでいる。計画においては既存の施設の整備が前提となっているようだが、それに留まらず、既存設備の集約等＋新たな施設の設置など、基本計画としてはより幅広い検討を可能	1件	ノバホール、市民ホールをはじめとした市の施設について、老朽化対策として長寿命化計画を立て、設計、改修工事を実施しています。 既存施設の集約や新たな施設の設置については、P39 計画の進行管理の計画を基に、連携・協力して進め、毎年実施状況を点検・評価をしていきます。
---	---	----	---

	とすることが必要ではないか。		新たな施設として、文化芸術に関するプラットフォームを体现し、その機能を推進する基盤となる施設として「つくば市文化芸術創造拠点」の整備を進めています。
2	ノバホールの改修をするときに、重い楽器を外部から台車だけで搬入できるように、改修したほうがいいと思います。	1件	御意見は今後の施設改修の際に参考とさせていただきます。
3	重くて高価な楽器はノバホールの備品として貸出できるように最低限の種類と品質をそろえたほうがいいのではないか。	1件	楽器の借用を行っている施設の多くは、市民が使用できる練習室が複数あり、楽器が保管できるスペースがあります。 ノバホール、つくばカピオは公演をメインとしており、複数の大きな楽器の保管やメンテナンスを行うことができるスペースがありません。また、楽器の移動も難しいため、楽器を備品として所有し、貸出を行うことは難しい状況です。

○ 文化芸術コーディネーター について

1	「文化芸術コーディネーター」の設置は非常に良いものだと感じた。 つくば市の現状や背景を理解しつつ、全国で実践経験のあるコーディネーターを設置することは、文化芸術課・文化振興財団の良さを引き出し、市民活動を活発化する役割を担える。 重要なのは、コーディネータ	1件	多様な要素が連携・協働して文化芸術を推進するプラットフォームの形成には、文化芸術コーディネーターが大きな役割を担うと考えています。 いただいた御意見を参考にし、様々な主体と連携・協働を進めるだけでなく、職員との連携・協働も重要なこととして共通理解を図っていきます。
---	---	----	--

	一の主な役割で、コーディネーターが「自分の役割や求めるビジョンを説明し続けること」が必要。また、「意識改革や協調関係を、まずは行政職員からはじめる。」ことは、コーディネーターの役割として、ぜひ設けた方がよい。		
2	活動のベースになり得る拠点について、コーディネーターが活動をしていくにあたって、「ここに行けば会える」「ここで定期的に会話の機会がある」という場所があった方がなにかと活動がしやすくなる。P33に文化施設の整備と活用の記載があるが、ここにコーディネーターの本拠地整備も併せて検討してほしい。	1件	現在、文化芸術創造拠点の形成・整備を進めており、施設内で文化芸術コーディネーターが文化芸術に係る相談業務を行うことを想定しています。
3	子供でも大人でも、文化芸術活動の基本は「見る・つなげる・つくる」にある。一人一人趣味嗜好、文化背景が違うが、文化芸術コーディネーターは、それらすべての活動のなかで「ここは面白い」というポイントを見つける「審美眼」と、それを市民にわかりやすく伝える「通訳力」を備えていることが求められる。	1件	いただいた御意見は文化芸術コーディネーターの事業内容等の参考にさせていただきます。

○ メディア芸術 について

1	文化庁でもメディア芸術にはゲームを加えているので、ゲームや漫画、同人誌等の自主制作のマンガ等も加えるべきだ。 メディア芸術にゲームを加えた場合は、つくば市市民部文化芸術課だけでなく関連する課とも連携し、市内の関係事業者、団体などと協働することが増える。	1件	P2 市が振興する文化芸術の定義は、令和5年4月に策定された国の計画「文化芸術推進基本計画（第2期）」に則っています。メディア芸術の内容のうち、その他の電子機器等にゲームが含まれています。 また、メディア芸術に係ることだけではなく、基本計画における施策の取組には、市の様々な課室等、団体や企業等との連携・協働が不可欠であり、本計画にも盛り込まれています。
2	つくば市は研究機関が集まる科学の街として知られ、革新的な技術と文化が融合する環境を活かし、既存のマンガ・アニメミュージアムと連携しつつ、デジタル漫画、アニメ、ゲーム、メディアアートに特化した施設の設立を提案する。 つくば市がメディア芸術の新たな拠点となることで、創造的な才能と技術革新が集まり、市の魅力と競争力を高めることに繋がる。	1件	メディア芸術について、市ではメディアアートフェスティバル、ショートムービーコンペティション等の事業を行っており、力を入れている事業の1つです。いただいた御意見を参考に情報を収集し、基本計画に沿って内容を検討していきます。

○ アーティスト支援 について

1	つくば市でも海外や国内でもアーティストの活躍ができるように次のような支援が欲しい。もしくは国や県などの支援の情報が得られるようにして欲しい。 1 財政支援と助成金制度 2 情報提供とネットワーク	1件	P23 方針①文化芸術に親しむまち 戦略2文化芸術を担う人材の育成 施策（1）市内で活動するアーティストの支援と指導者の育成 市内でのアーティストの育成は重要な課題だと捉え、施策の1
---	---	----	--

	ング 3 言語サポートと文化交流 4 マーケティングとプロモーション支援 5 教育プログラムとワークショップ 6 法的サポート		つとしています。 御提案内容についても、文化芸術コーディネーターへの相談業務等に対応できるようにしていく予定です。
--	--	--	---

○ 博物館等の誘致 について

1	図書館、美術館、博物館などをつくばに誘致してはどうか。つくば市なら国際性を活かして海外漫画を置くこともできるし、観光客の集客も期待でき地域の活性化につながる。 つくば市には海外から外国籍市民も多いので海外コミックなどの文化資産をアーカイブ、研究などができる施設を誘致することはできないか。	1件	いただいた御提案の美術館や博物館等の誘致については難しいですが、市では現在「出会う・つながる・創造する」をコンセプトとした文化芸術創造拠点の整備を進めており、文化芸術に特化した施設が誕生します。 このプラットフォームにより多くの市民が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術が身近なものとなること、さらには地域の活性化も目指していきます。
---	--	----	--

○ 学識経験者の選定 について

1	有識者の人選に偏りがあるために、政策が市民に浸透していないのではないか。人選考慮はしてほしい。文化者の立場の声、政策がずいぶん抜け落ちている。	1件	文化芸術審議会委員については計画の P41、P42 に記載していますが、審議する内容を見通し、市民委員を含めて選定しています。また、審議会委員にとどまらず、様々な分野からのヒアリングを実施するなど、分野のバランスをとるように心がけて事業を進めています。
---	--	----	---

○ 計画に対する提案 について

1	つくば市の文化芸術推進に関する基本計画に対し、以下の提案をする。 1 地方を舞台とした作品の支援と地方活性化 2 資金調達と助成金制度の活用 3 行政と政治の役割 4 制作インフラの整備	1件	いただいた御提案について、次期計画策定の際に参考にさせていただきます。
---	---	----	-------------------------------------

○ 食文化 について

1	食文化の補足を希望する。文化庁の報告書によると、食文化の定義として様々なものが挙げられている。 どういう領域を食分野では伸ばしていくのか、またどのような政策をとるのかなど、もう少し具体的に補足をしてほしい。近隣の市でも、料理で町おこしをする、また観光マップを作るなどのアピールをしている。	1件	P30 本計画の施策体系において、 方針④創造的で活力あるまち 戦略2文化芸術によるイノベーションの創出 施策（2）食や生活文化等、文化観光の推進 を掲げ、つくばの食文化と観光を結びつける取組を実践していきます。
---	---	----	--

○ つくばのPR について

1	映画、ドラマ、アニメ、漫画ロケ利用などへの紹介により、つくばが舞台となれば、ロケ地マップの作成、コンテンツ会社に資料提供や地元の調整、グッズ化などの地元販売調整を行う必要があり、自治体が窓口になって成功しているところも多い。	1件	つくばをPRするための観光に関するコンテンツやパンフレットは現在も多数あり、市ホームページや一般社団法人つくば観光コンベンション協会ホームページから「つくば市PR動画」「フットパスマップ」「つくばめぐり」など多くの情報を得ることができます。
---	--	----	--

○ 賑わいの創出 について

1	センター広場でライブがあったり、各所でパフォーマンスがあったりというような賑わいも欲しい。	1件	つくば駅周辺を中心とする研究学園地区の公共空間の活用や周辺市街地（R8）の地域づくりに関わる人達との連携を積極的に進め、地域の魅力の向上や賑わいの創出を目指しています。
---	---	----	--

■ 修正の内容

P19 3.1. 基本理念 について

修正前	修正後
（1段落目） <u>つくば市文化芸術推進基本計画（第1期）では、基本理念を「アートで編む」としました。</u>	削除
（6段落目） <u>_____基本理念「アートで編む」には、行政や市民、大学、研究機関などの異なる主体や立場、自然や科学技術、国際交流など市の多面的な魅力を、文化芸術により有機的に結びつけていくこと、つまり、1本1本のすばらしい糸（主体や魅力）を連携させていくことで、新しい文化芸術を創造し、大きな「まち」という布を織るという思いを込めました。</u> <u>第1期計画で定めた基本理念「アートで編む」は、中長期的な視点に立って設定したものであり、新型コロナウイルス感染症の影響により第1期に掲げた取組が道半ばである状況を踏まえて、第2期計画の基本理念も第1期計画と同様に「アートで編む」とします。</u>	<u>第1期計画では基本理念を「アートで編む」とし、市の様々な_____主体や_____魅力を_____文化芸術で_____結びつけ_____、新しい文化芸術を創造し、豊かなまちづくりを目指しました</u> <u>_____。</u> <u>この_____基本理念「アートで編む」は、中長期的な視点に立って設定したものであり、新型コロナウイルス感染症の影響により第1期に掲げた取組が道半ばである状況を踏まえて、第2期計画の基本理念も第1期計画と同様に「アートで編む」とします。</u>

本文全体の配色デザイン について

修正前	修正後
P 4 ～P18 2. 文化芸術を取り巻く現状と課題 赤系の配色	 青系の配色